

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	＊	＊	＊
(北陸)	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・期の終わりで決着をつけたいという意気込みが伝わってきており、少しずつ前向きな動きが出てきそうである。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・ようやく前年と同じ売上実績に到達した。とはいえ新型コロナウイルス発生前の一昨年と比べると40%しかない。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが活発になっている。売上は前年並みかそれ以上を確保できている。しかし、一昨年から見ると6割に満たない。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・来客数は僅かに前月から増えている。
	○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・遠方への旅行を控え、近場の商業施設などで休日を過ごす傾向が定着しつつある。家で旅気分という切り口で催事を企画すると、弁当、総菜、スイーツといったご当地グルメの売上が非常に好調である。
	○	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・3月上旬にリニューアルを実施した。全館改装のため、大幅な来客数の増加となる。感染対策には細心の注意をはらい、入店時の検温などを実施している。県内の感染者数がやや少なく、来店客は全年代で増加傾向にあるが、最近来店していなかった50代以上の来店や購入が増えている。特に物産催事、日替り販売の菓子など限定商品には長蛇の列ができてきている。食に関しては、新型コロナウイルスの影響をどの年代も全く受けていない状況である。20～40代前半の来店は多いが、必需品と食以外の購入は減少傾向である。また、紳士、婦人共に衣料品に関しては、集客はあるが購入には至らない。改装箇所以外の区画についても同様である。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・人の動きが良くなってきている。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・工期が遅れていた新築物件が完成し始めて、家電一式の販売が増えている。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・タイヤ交換や車検等、繁忙期であるためサービスでの入庫は多いが、販売は苦戦している。
	○	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・例年、最需要期となる2～3月のため、来客数も商談の中身も充実しており、懸念されていた新型コロナウイルスの感染拡大の影響はさほどなく、順調に受注を伸ばしている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除やエリア内の新型コロナウイルス感染者数の減少傾向が継続しており、3か月前よりも来客数、販売量共に回復してきている。しかしながら一昨年の状況までには至っておらず、引き続き感染者数の推移に業績が左右されており、この先その期間が半年以上は続くものと想定している。
	○	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・3月7日に一部地域の緊急事態宣言を解除し、首都圏も21日で解除したことを受け、3月は前半から後半に掛けてどんどん人の動きが活発化している。20日以降は気温が上がってポカポカ陽気で、週末は花見や旅行に出掛けている消費者が多くなっている。観光都市である当地は、20日以降観光客が増えている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・持病を持つ常連客は1年前から来店しない中で、何とか新型コロナウイルス発生以前の数字に戻りつつあり、安どしている。
○	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・子供向けにスマートフォンの需要が高まる時期であり、販売数は伸びてきているが、新プランの発表などにより見直しを希望する客がかなり増えている。そのような要因で来客数に対して販売量が伸びている。	
○	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今年は1～2月に雪が多くて客の動きが悪かった分、3月に入って大きく動いてきている。問合せ件数も例年並みに戻り、契約者数も契約金額も例年以上となっている。	

○	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・イベント等への来客数は増えている。
□	一般小売店〔精肉〕(店長)	来客数の動き	・今月は、安い豚や鶏、牛の細切れ等の動きは良いのだが、ステーキ、薄切り肉等のギフト関係の商材の動きは非常に悪く、良いとも悪いともいえない状況が続いている。
□	一般小売店〔事務用品〕(店員)	販売量の動き	・民間企業及び一部官公庁の売上が低迷している。
□	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・4都県の緊急事態宣言が解除されたことで観光客が増えている。特に学生の卒業旅行で4～5人ほどのグループが目立つ。土産需要があり、食品が好調に推移している。店全体でみると今月は前年比プラス27%だが、一昨年比では2%減少の見込みである。
□	スーパー(店長)	販売量の動き	・競合店出店の影響があり、来客数は増えず、買上点数の減少が徐々にみえるようになってきている。価格競争によるものが主な要因だが、無駄なものは買わないという節約志向があるのではないかと考える。
□	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・客単価が変わらない。
□	コンビニ(店長)	販売量の動き	・ここ半年、売上は底の状態が続いている。売上が上がる兆しは見られず、新型コロナウイルス禍で最悪の時期よりはましになったという状況で、これ以上売上が下がるとはみていない。もう少し回復するかという期待はあったが、依然として低迷している。
□	コンビニ(店舗管理)	来客数の動き	・第3波が始まり自粛ムードであった頃から状況が好転していない。
□	コンビニ(営業)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、駅前を中心に人が戻ってきていない。また、工場の時短などがあり客が戻ってきていない。
□	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・今月は天候も持ち直し暖かい日が増えてきたことや、当地では新型コロナウイルスの感染がそれほど深刻ではないことから、少し明るい兆しが見えている。
□	衣料品専門店(店舗運営)	販売量の動き	・購買意欲は徐々に戻っていると感じるが、引き続きまとめ買いの減少がみられる。
□	家電量販店(本部)	販売量の動き	・前年と比べると増加、一昨年と比べると横ばいの傾向は変わらない。単価がアップしている。
□	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・サービス部門の売上は前年同時期より良い状況だが、車両の販売量は増えない状態が続いている。新しい車に乗り換えることに慎重な様子がうかがえる。
□	自動車備品販売店(役員)	単価の動き	・前月と比較して客が明らかに増えている。買上点数は増えたが、高額品の動きは相変わらず低迷し、単価も改善していない。
□	その他専門店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・景気が悪いままである。今後、歓送迎会や桜の花見などでも、売上が上がる期待が全くない状態である。
□	一般レストラン(店長)	販売量の動き	・来客数は最悪の状態だったが、月末に掛けて弁当のテイクアウトが少し増えてきている。
□	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから春休みに入り、少しずつ客が戻ってきている。
□	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、先行きが明るくないことには、状況が変わらないと考える。
□	通信会社(役員)	販売量の動き	・今月の契約者数は前年同月と比べると、通信、放送共に若干減少している。減少幅は3か月前と変わらず推移している。
□	テーマパーク(役員)	来客数の動き	・全国的に緊急事態宣言は解除されたが、依然として人の動きは鈍い。Go To Travelキャンペーンの再開も当面ないことから旅行者が大変少なく休業状態の日も多くなっており、2～3か月前と変わらない状況である。
□	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕(総支配人)	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルス感染者が減ってきており、自粛の範囲が縮小されてきているのを皆が肌で感じているようである。施設体験の希望も多くなってきており、今後につなげていく希望となっているところである。

	□	美容室（経営者）	それ以外	・前年3月は当地でも新型コロナウイルス禍が始まった月である。今のところ当地では新型コロナウイルスの発生を極力抑え込んでおり、今月の来客数は前年を大きく上回っているが、一昨年と比べると同水準である。
	□	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場の来場者数が増加する様子は感じられない。
	□	住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・来客数に変化がない。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・百貨店のリニューアルで人出は多いが客単価は低く、売上を縮めてみるとパッとしない。客の財布のひもは非常に固く、価格に敏感である。
	▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・県による景気刺激策の割引制度が終了して以降、来客数、購入点数共に下落傾向がみられる。
	▲	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・販促費を掛けても、以前のような集客効果がみられず、費用対効果は得られない。特に平常時の来客数については、販促を強化しても若干伸びる程度で売上にはつなげていない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月は式典の多い月だが、新型コロナウイルスは人と人との接触の機会を限定的にしている。
	▲	タクシー運転手	来客数の動き	・東京など大都市における緊急事態宣言の解除後、夜の繁華街に少し人が出ている。しかし、近辺からの客が多いようである。
	×	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・本来であれば3月は需要期であるが、来客数、販売数共に伸びていない。金の使い方や使い道に変化が出てきている様子がうかがえる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・卒業や就職祝いの家族単位での食事会は例年並みにあるが、企業や組合による送別会などの団体利用は限りなくゼロに近く、全体では例年の6割ほどの集客しかない。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上は27%、宿泊人数は25%、宿泊単価は117%である。宿泊人数の減少分を補うため、単価が上がる商品の販売及び日帰りによる集客等を実施しているが、現状は厳しい状況が続くとみている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・売上高はGo To Travelキャンペーンが12月28日に一時停止になって以来、急激に悪くなっている。予約はかなり入っていたが、宿泊も宴会もレストランもキャンセルが相次いでいる。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・県独自の時短要請は3月7日で終了し、繁華街への人出は多少増えたがまだまだである。観光客は卒業旅行で少し増えてきている。元のようにするにはまだまだ時間が掛かると考える。
企業動向関連（北陸）	◎	*	*	*
	○	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍のなかでのビジネスに馴染んできた感じがする。家庭消費向けの市販用は引き続き堅調に推移し、苦戦中の外食向けなどを含む業務用においても、緊急事態宣言解除の後押しがあっただけか、新規需要の創出を狙った商談が成立するなど息を吹き返しつつある。
	○	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米市場及び日本市場の受注が順調に取れている。
	○	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月の販売状況は、当初計画のイメージ以上に堅調に推移しており、生産もほぼ現状のキャパシティに対して一杯の状態である。
	○	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・業種によって異なるものの、全般的に投資等が増加傾向にある。また、補助金が予算化され、減収となった企業において活用しやすいことも好調の要因とみている。
	□	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は変わらず推移している。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況及び自動車業界の半導体不足による影響がマイナス要因となり、回復に足踏み状態が続いている。

	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、旅行、宿泊、飲食業界の不況はもとより、その関連の広告業者や印刷業者の苦しさ、新型コロナウイルスの影響をほとんど受けない公共事業を営む土木工事業企業との業種間格差が広がっている。また、同じ土木業者間でも、しゃにむに受注する企業と手堅い経営を目指す企業とであつれきが生じている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されて時間が経っていないが、年末年始よりは人とモノの流れは回復し始めている。しかし、前年よりはまだ少し良いというレベルである。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	取引先の様子	・住宅ローン以外で事業者からの業務依頼がこれまでになくあるが、大型新規事業向けの景気が良いとみられるもの、取引先に対する売掛金担保のといった景気が悪いとみられるものと双方ある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在は個人客からの問合せが少しずつ来ている状況で、まだ特別多いという感じはない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	税理士（所長）	取引先の様子	・取引先のなかでは、特に建設業関係が設備事業も含めて堅調である。事業者数が減っていることもあり、実際に作業をしてくれる中小の建設業者を取り合いする状況になっており、価格が悪くないのではないかと考える。ただし、設備投資絡みの機械部品の製造関係は、以前と変わらず今も厳しい状態が続いている。いろいろな輸出機会の停滞、新型コロナウイルスの影響が徐々に出ているのではないかと感じている。小売業、観光業、バス事業は依然として新型コロナウイルスの影響から脱し切れておらず、厳しい状態である。
	<input type="checkbox"/>	—	—	—
雇用 関連 (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・1月頃より求人がやや増加傾向にある。求職者を探すのに苦労しており、見つかってもマッチングしないことが多い。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年度末にあたる時期だが、新規求人がほとんどない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・小売で自社商品が売れてきていると企業の数社から聞いている。少し上向きな話が出てきている。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・一定数の求人の動きはコンスタントにあるものの、新型コロナウイルス禍前の状況までにはまだまだ程遠く、企業側が新規、臨時雇用共に採用数を絞っている様子に大きな変化は見られない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数は徐々に回復しつつあるが、新規求職者数が増加している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人の数が減っている。
	<input type="checkbox"/>	—	—	—